

2020年1月29日

各位

不動産投資信託証券発行者名
G L P 投 資 法 人
 代表者名 執行役員 三浦 嘉之
 (コード番号: 3281)

資産運用会社名
G L P ジャパン・アドバイザーズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 三浦 嘉之
 問合せ先 執行役員 CFO 兼経営企画部長 三木 久武
 (TEL. 03-3289-9630)

資金の借入れ及び金利スワップ契約締結に関するお知らせ

GLP 投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、下記のとおり、資金の借入れ及び金利スワップ契約の締結を決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 資金の借入れについて

(1) 借入れの内容

借入先	借入金額	利率	借入 実行日	借入方法	返済期日	返済方法	担保
株式会社三菱 UFJ 銀行	3,250 百万円	基準金利に 0.250% を加えた利率 (注1) (注2)	2020年 1月31日	左記借入先との 間で2020年1月 29日付で締結す る個別貸付契約 に基づく借入れ	2027年 1月29日	期限一括 返済	無担保 無保証

(注1) 利払日は、2020年4月末日を初回とし、その後は毎年1月、4月、7月及び10月の各末日及び返済期日（同日が営業日でない場合は翌営業日とします。）です。

利払日に支払う利息の計算期間に適用する基準金利は、各利払日の直前の利払日（但し、第1回の計算期間については実行日とします。）の2営業日前の時点における一般社団法人全銀協 TIBOR 運営機関が公表する3ヶ月物の全銀協日本円 TIBOR となります。但し、計算期間が3ヶ月に満たない場合は、契約書に定められた方法に基づき算定される当該期間に対応する基準金利となります。

基準金利である全銀協3ヶ月日本円 TIBOR については、一般社団法人全銀協 TIBOR 運営機関のホームページ (<http://www.jbatibor.or.jp>) でご確認ください。

(注2) 金利スワップにより金利を固定化しております。詳細は後記「2. 金利スワップ契約締結について」をご参照ください。

(2) 借入れの理由

2020年1月31日に返済期日を迎える借入金（合計3,250百万円）のリファイナンスを行うため。

(3) 調達する資金の額、用途及び支出予定時期

① 調達する資金の額

合計 3,250 百万円

② 調達する資金の具体的な用途

「1.資金の借入れについて (2)借入れの理由」に記載の既存借入金（合計3,250百万円）の返済

③ 支出予定時期

2020年1月31日

(4) 本借入れ後の借入金等の状況

(単位：百万円)

	本件実行前	本件実行後 (注)	増減
短期借入金 (注)	14,750	11,500	△3,250
長期借入金 (注)	220,250	223,500	3,250
借入金合計	235,000	235,000	—
投資法人債	35,700	35,700	—
借入金及び投資法人債の合計	270,700	270,700	—

(注) 短期借入金とは本日現在を基準として返済期日までの期間が一年以内のものをいい、長期借入金とは本日現在を基準として返済期日までの期間が一年超のものをいいます。

2. 金利スワップ契約締結について

(1) 金利スワップ契約締結の理由

前記「1. 資金の借入れについて (1) 借入れの内容」に記載の借入れの一部について、支払金利の固定化を図り、金利変動リスクをヘッジするため、以下の金利スワップ契約を締結します。

(2) 金利スワップ契約の概要

相手先	想定元本	金利	開始日	終了日	利払日
野村證券株式会社	3,250 百万円 (注)	固定支払金利: 0.069% 変動受取金利: 全銀協 3ヶ月日本円 TIBOR	2020年 1月 31日	2027年 1月 29日	毎年1月、4月、7月、10月の各末日及び終了日 (但し、当該日が営業日でない場合は、その翌営業日とし、当該日が翌月となる場合には直前の営業日とします。)

(注) 2027年1月29日に返済予定の借入れ3,250百万円に対応するものです。借入れの詳細は前記「1. 資金の借入れについて」をご参照ください。また、本金利スワップ契約締結により、本借入れに係る金利は、実質的に0.319%で固定化されます。

3. その他投資者が当該情報を適切に理解・判断するために必要な事項

本件借入れの返済等に関わるリスクに関して、2019年11月28日に提出した有価証券報告書記載の「投資リスク」の内容に変更はありません。

以 上

* 本投資法人のホームページアドレス : <https://www.glpjreit.com>